

ポータルネッサンス21事業の概要と セリオン周辺の位置づけについて



平成19年 8月28日
秋田市港湾貿易振興課

秋田港ポータルネッサンス21事業の経緯

昭和60年	運輸省(当時)が「ポータルネッサンス21構想」を提唱
昭和61年度	県が主体で「ポータルネッサンス21計画調査」を実施
昭和62年度	市が「ポータルネッサンス21事業実施計画」を策定
平成元年	第三セクター「ポート秋田(株)」設立
平成6年	「ポートタワーセリオン」オープン
平成8年度	「ポータルネッサンス21事業実施計画見直し調査」を実施
平成12年度	「多機能複合中核施設」の事業化断念

秋田港ポータルネッサンス21事業の経緯

昭和60年	運輸省(当時)が「ポータルネッサンス21構想」を提唱
昭和61年度	県が主体で「ポータルネッサンス21計画調査」を実施
昭和62年度	市が「ポータルネッサンス21事業実施計画」を策定
平成元年	第三セクター「ポート秋田(株)」設立
平成6年	「ポートタワーセリオン」オープン
平成8年度	「ポータルネッサンス21事業実施計画見直し調査」を実施
平成12年度	「多機能複合中核施設」の事業化断念

1.(1)ポータルネッサンス21事業の概要

(1)目的

先に県が主体となって実施した計画調査の成果を踏まえ、その事業化を進めることにより、市民港としての秋田港の再生を図るとともに、後背地の土崎地域をはじめとする北部地域の活性化に資する。

(2)スケジュール

第1期	平成	元年～平成	4年(4年間)
第2期	平成	5年～平成	8年(4年間)
第3期	平成	9年～平成	12年(4年間)

(3)総事業費

278億円(第1期の事業費は68億円)

(4)主な内容

地域活性化行動計画	土地利用計画
基盤整備計画	施設整備計画
事業計画	今後の課題と進め方

1.(2)ポートルネッサンス 2 1 事業の概要



1.(3)ポータルネッサンス21事業の概要

施設名	事業主体	
ポートタワー・博物館	3セク	
臨港屋内公園	公共	
有蓋デッキ	公共	
多目的広場・駐車場	公共	
広場・駐車場	公共	
緑地	公共	
コンベンションセンター	3セク	

施設名	事業主体	
ポートセンター	公・3	
港湾複合機能ビル	3セク	
ホテル	民間	
商業施設	民間	
鉄道駅	公共	
道路整備	公共	
埋め立て、造成	公共	

1.(4)ポートルネッサンス 2 1 事業の概要

残された課題と今後の進め方

(1) 推進体制の整備

市民、港湾関連企業、行政で組織する協議会を設立すべき。

(2) 第3セクターの設立

民活法の主旨を活かすため第3セクターの設立が不可欠。

(3) 事業を進行させるソフトの必要性

地域住民の意識を啓発するイベントなどの実践活動が必要

(4) 地元組織の活発な活動展開

地元意識の確立の為の積極的な活動展開が必要

(5) アイデンティティの創出

秋田らしさ、土崎らしさのイメージづくり

秋田港ポータルネッサンス21事業の経緯

昭和60年	運輸省(当時)が「ポータルネッサンス21構想」を提唱
昭和61年度	県が主体で「ポータルネッサンス21計画調査」を実施
昭和62年度	市が「ポータルネッサンス21事業実施計画」を策定
平成元年	第三セクター「ポート秋田(株)」設立
平成6年	「ポートタワーセリオン」オープン
平成8年度	「ポータルネッサンス21事業実施計画見直し調査」を実施
平成12年度	「多機能複合中核施設」の事業化断念

2.(1)ポータルネッサンス 2 1 事業見直し調査

ポータルネッサンス21事業を取り巻く環境の変化

- (1) 社会経済状況の変化
- (2) 第3セクターの経営不振
- (3) 物流・流通事情の変化
- (4) 都市住民の価値観の変化

2.(2)ポータルネッサンス 2 1 事業見直し調査

施設名	事業主体	整備状況
ポートタワー・博物館	3セク	
臨港屋内公園	公共	
有蓋デッキ	公共	×
多目的広場・駐車場	公共	
広場・駐車場	公共	×
緑地	公共	×
コンベンションセンター	3セク	×

施設名	事業主体	整備状況
ポートセンター	公・3	×
港湾複合機能ビル	3セク	×
ホテル	民間	×
商業施設	民間	×
鉄道駅	公共	困難
道路整備	公共	一部
埋め立て、造成	公共	

2.(3)ポータルネッサンス 2 1 事業見直し調査

多機能複合中核施設

(1)複合交流センター

宿泊施設、国際会議場、集会施設、屋外展示場、交流ホール等

(2)ポートショッピングセンター

ショッピングセンター、インポートマーケット、フィッシャーマンズワーフ、ポートギャラリー、シーフードレストラン等

(3)ポートインテリジェントセンター

港湾関連オフィス機能、研修室、会議室等

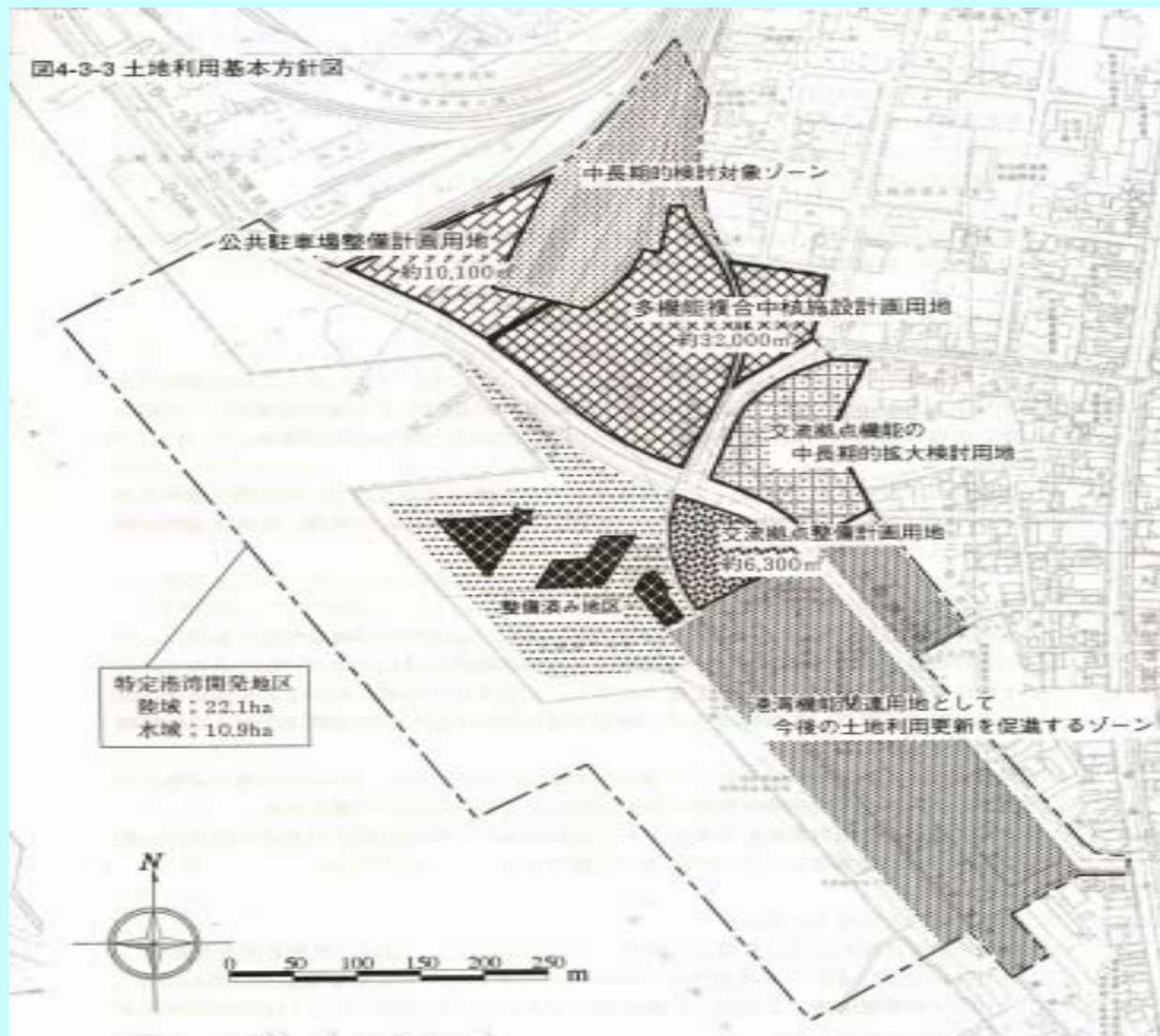
(4)ポートパーキングセンター

立体駐車場、公共駐車場等

2.(4)ポートルネッサンス2 1事業見直し調査



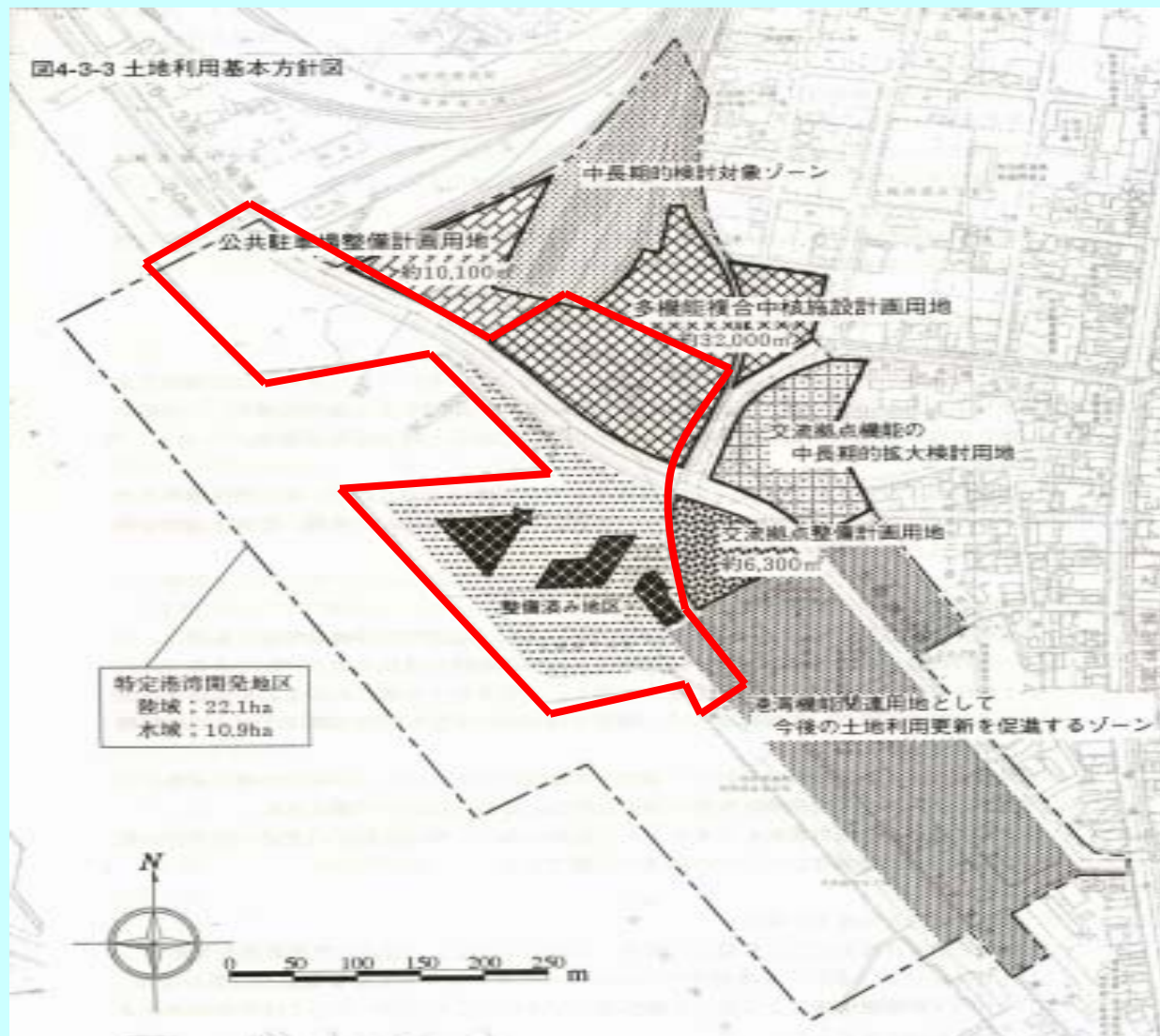
2.(5)ポータルネッサンス21事業見直し調査



秋田港ポータルネッサンス21事業の経緯

昭和60年	運輸省(当時)が「ポータルネッサンス21構想」を提唱
昭和61年度	県が主体で「ポータルネッサンス21計画調査」を実施
昭和62年度	市が「ポータルネッサンス21事業実施計画」を策定
平成元年	第三セクター「ポート秋田(株)」設立
平成6年	「ポートタワーセリオン」オープン
平成8年度	「ポータルネッサンス21事業実施計画見直し調査」を実施
平成12年度	「多機能複合中核施設」の事業化断念

3.(1)秋田市ポートタワー再生プランの策定



3.(2)秋田市ポートタワー再生プランの策定

施設名	事業主体	整備状況
ポートタワー・博物館	3セク	
臨港屋内公園	公共	
有蓋デッキ	公共	×
多目的広場・駐車場	公共	
広場・駐車場	公共	×
緑地	公共	×
コンベンションセンター	3セク	困難

施設名	事業主体	整備状況
ポートセンター	公・3	困難
港湾複合機能ビル	3セク	困難
ホテル	民間	
商業施設	民間	
鉄道駅	公共	困難
道路整備	公共	一部
埋め立て、造成	公共	

3.(3)秋田市ポートタワー再生プランの策定

第1 1次秋田市総合計画(H19~H27)での位置付け

第1章 豊かで活力に満ちたまちづくり

第1節 商工業の振興

第2節 農林水産業の振興

第3節 交流人口の拡大

第1項 観光振興の推進

第2項 にぎわいの創出

(1) 秋田市ポートタワーの魅力向上

(2) 秋田市ポートタワーと秋田港振興センターの
一体的活用

3.(4)秋田市ポートタワー再生プランの策定

第1 1次秋田市総合計画(H19～H27)での位置付け

(1) 秋田市ポートタワーの魅力向上

秋田港周辺のにぎわいを創出するため、平成19年度から公設化する秋田市ポートタワーについて、その具体的な利用方法を秋田市ポートタワー再生プランにおいて定め、秋田港のシンボル施設としての魅力を高めます。また、秋田市ポートタワーを中心とした周辺一帯の施設を含めて、みなとオアシスをはじめとする様々な制度の活用を検討します。

(2) 秋田市ポートタワーと秋田港振興センターの一体的活用

既存施設を有効に活用し、さらなる誘客を図るため、秋田市ポートタワーと秋田港振興センターを一体とした、効果的・効率的な管理運営を行います。